

## (1)使用可能車両

- ①法令等に従い、公道を走るために必要な装備及び機能等を有する法令等に従った自転車を使用ください。
- ②法令又は本規約に定める自転車の車両区分、その他の規約にご注意ください。
- ③電動アシスト付き自転車向けのメカニックサービス(修理・充電等)は提供しません。故障又は充電切れした際には、アシスト機能無しで制限時間内に走行するか、収容車両で会場までお戻りいただきます。
- ④本イベント主催者が、自転車が法令又は本規約に違反すると判断した場合は出走を取り消す場合がございます。
- ⑤タイヤの空気圧は種別に応じた適正な空気圧でご参加ください。適正な空気圧がわからない場合、店舗等でご確認いただき、本番前日に適正な空気圧にさせていただく事を推奨します。適正でない空気圧が原因でパンクする事がありますのでご注意ください。
- ⑥フロントライト、テールライト、電動アシスト等の充電・電池を要する機能は必ずご確認ください、必要に応じて充電、電池交換をしてご参加ください。

### <使用可能車両>

使用 可能 車両	ロードバイク(多段ギア付)	○
	スポーツサイクル(多段ギア付or電動アシスト付)	○
	軽快車(いわゆるママチャリ)(多段ギア付or電動アシスト付) *幼児用座席取付自転車 *トレーラー	○
	ミニベロ16~24インチ(多段ギア付or電動アシスト付)	○
	ビーチクルーザー・ファットバイク(多段ギア付or電動アシスト付)	○
	レンタサイクル(多段ギア・電動アシスト付)	○
	タンDEM自転車(多段ギア付or電動アシスト付)	○

### <車両定義>

車両区分	主な定義	該当車両	該当ハンドル形状
ロードバイク	・主にドロップハンドル仕様で タイヤ径が25インチ以上の車両 ・多段ギア付き	・ロードバイク ・グラベルロード ・シクロクロス	・ドロップハンドル ※フラットハンドルのロードバイクは 「スポーツサイクル」とする
スポーツサイクル	クロスバイク、 MTBなどフラット形状ハンドルの スポーツ車	・トレイルバイク ・クロスバイク ・MTB	・フラットハンドル(バーエンド可) ・ライザーバー

車両区分	主な定義	該当車両	該当ハンドル形状
軽快車 (いわゆるママチャリ)	フレームがスポーツ車でなく 軽快車仕様	・軽快車 (いわゆるママチャリ)	・一般的な軽快車 (いわゆるママチャリ) 仕様のハンドル ※改造不可
ミニベロ	タイヤ径が16~24インチの車両	・ミニベロ	・フラットハンドル ・ドロップハンドル
タンデム自転車	2人乗り用としての構造を有し、 かつ、ペダル装置が縦列に設けられた 自転車	・タンデム自転車	・フラットハンドル ・ドロップハンドル
特殊車両	上記以外の車両	・ファットバイク (ビーチクルーザー)など	・各車両による

※多段ギアなしかつ電動アシストなし自転車、ミニベロ16インチ未満の自転車では参加できません。

※運営側で判別が行いやすい「車両形状」を主な判断基準とさせていただきます。

※年々様々な種類の自転車が増えています。自身の自転車が不適合か判断できない場合は、事前にレインボーライド事務局までご相談ください。

※上記「レンタサイクル(電動アシスト付き)」は主催者が用意したレンタサイクル(ヘルメット付)を指します。

## (2)使用不可車両

一般的に公道での走行が認められている車両であっても、安全管理のため、以下車両の参加は原則受け付けておりません。ご理解ください。

### <使用不可車両>

- ・法令違反の自転車・国内で定められていない機能を備えた電動アシスト付き自転車(時速25km以上のアシスト力が加わる等)
- ・ペダルを漕がずに進む電動アシスト付き車両(電動モペット)
- ・リカンベント
- ・ハンドサイクル
- ・トライシクル
- ・ピストバイク(固定ギア車)
- ・補助輪付き自転車
- ・ミニベロタイヤ径16インチ未満
- ・TTバイク
- ・各コースの使用可能車両に該当しない車両

### <使用不可ハンドル>

- ・DHハンドル
- ・クリップオン
- ・スピナッチ
- ・エアロバー
- ・トライアスロンバー

- ・上記のようなドロップハンドルにアタッチメント方式で取り付ける補助バー全般。その他、素早いブレーキ操作の妨げになり、急勾配の路上での操作に不向きなもの。
- ・アタッチメント方式で取り付ける仕様の補助バー全般を含み、走行上、危険と判断されるハンドルは禁止します。
- ・本イベント主催者がレギュレーション違反と判断した場合は出走を取り消す場合がございます。